

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名	ヘルスパイオニアタウン事業（短期人間ドック助成事業）
-------------------	--------------	-----------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人及び老人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	004	事務事業コード 12211004 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	国民健康保険特別会計	予算書上の事務事業名	短期人間ドック助成金
------	------------	------------	------------

部 名	保健福祉部	グループ名	国保・医療給付 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> <p>20歳以上、40歳未満の登別市国民健康保険被保険者（原則として、保険税滞納世帯を除く） なお、40歳以上の被保険者の短期人間ドックについては、特定健康診査とみなし、特定健康診査の扱いで位置づけている。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> <p>短期人間ドックを受診した被保険者に対し、受診料の一部を助成する。 ・胃バリウム実施機関 ～ 検診料金36,750円の内、市補助金：34,250円・本人自己負担額：2,500円 ・胃カメラ実施機関 ～ 検診料金39,900円の内、市補助金：36,900円・本人自己負担額：3,000円</p>
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> <p>短期人間ドックを受診することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげる。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	上は生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症等）に係る1人当り医療費を全道平均以下にする。（5月レポトより：上段が道・下段が当市） 疾病分類121分類	円	目標値	2,758	2,758	2,758	2,758	2,758
			実績値	2,774				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 国民健康保険税	千円	825	1,068	1,068	1,068	1,068	3,204
	一般財源	名称	千円						0
合 計				825	1,068	1,068	1,068	1,068	3,204
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	793	346			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	102			
			合 計		793	448			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 短期人間ドックについては、受診しやすい環境づくりが重要であることから、市が検診料金を助成することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 短期人間ドックにより、疾病を早期発見・早期治療につなげることができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 短期人間ドックや各種健診等について周知したリーフレットを、広報折込として全戸配布することで、受診につなげることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ これ以上経費を削減することは、受診者の自己負担額をあげることになり、受診率の低下につながるため、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	短期人間ドックは、疾病の早期発見・早期治療につながるため、事業を維持していく。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）